

分科会

9月8日(日)9:00~15:00 会場●岡山大学・津島北キャンパス・文法経済学部棟

1 ものづくりと産業集積の再生の課題

グローバル化のもとでの地域再生と集積の課題

グローバル化のもとで衰退した地域経済。アベノミクスの成長戦略で日本の製造業はどうなるか。日本のものづくりを再生させる展望はどこにあるのか。ますます国際化する経済社会の展開をふまえたものづくりや産業集積地の再生にむけた取り組みを交流します。

【助言者】
吉田敬一 (駒澤大学教授)

2 地域建設業の課題と仕事おこし

建設業の再生と持続可能な発展の方向は

大手を頂点に裾野に膨大な零細企業が存在する建設産業は、選別と淘汰が進み事業所数の減少が続いています。耐震化や老朽化する社会資本の整備、環境問題への対応などは待ったなしです。技能・技術の継承をどうはかるか、建設業再生と持続的な発展をどうはかるか考えます。

【助言者】
永山利和 (元日本大学教授)
蚊口哲也 (国土交通省労働組合)

3 持続可能なまちづくりと地域商業の課題

シャッター通りを元気な商店街に

「シャッターがシャッターを呼ぶ」負の連鎖から抜け出し元気あるまちづくりをすすめるには、街の個性の再発見が出発点になります。中心市街地の再生とにぎわいづくり、買い物難民問題など持続可能なまちづくりの取り組みを交流します。

【助言者】
足立基浩 (和歌山大学教授)

4 下請取引問題と公正取引ルールの確立

公正な取引ルールの確立を

海外生産がすすむなか、国内の中小業者はアジアなどの過酷なコスト競争を強いられています。大企業は「内部留保」を拡大させていますが、低単価と低賃金の構造は変わらず格差は広がるばかりです。大企業の横暴を規制し公正な取引ルールの確立への課題と展望を考えます。

【助言者】
小林世治 (日本大学教授)

5 サービス業の革新とニュービジネス

新しいビジネスチャンスはどう見つけるか

「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)の精神で、地域密着で暮らしを支える業者。大規模店・チェーン店に対抗するには、伝統の継承とともに常に事業の革新が求められます。生活やニーズの多様化にもなう新しいビジネスやサービスの可能性や展望に迫ります。

【助言者】
井内尚樹 (名城大学教授)



全体会

9月7日(土)12:30~14:30 会場●岡山市民会館・大ホール

開会あいさつ
主催者あいさつ

講演 三井逸友・常任実行委員 (嘉悦大学教授)
基調報告 岡崎民人・常任実行委員 (全商連事務局長)
特別報告 自治体首長・中小商工業者

パネルディスカッション・憲法講座

9月7日(土)15:00~18:00
会場●岡山市民会館・岡山県総合福祉会館・岡山県立図書館会議室

A 新しい地域創造への挑戦 —憲章・地域振興条例を力に—

中小企業振興条例を制定し、地域資源を発掘し循環型地域づくりへの挑戦が全国ですすめられています。産業連関表に基づく具体的な分析がビジョンづくりに有効です。先進の取り組みから、その手法を学び、各地での実践に生かしていけるようにします。

【コーディネーター】
入谷貴夫 (宮崎大学教授)
【パネリスト】
京都・与謝野町
北海道・帯広市 ほか

B 実践・再生可能エネルギーによる 循環型地域づくり

グリーンエネルギー革命と呼ばれるイノベーションが世界的な規模で始まっています。それは、原発依存からの脱却、地域に新たな産業を生み地域活性化につながります。中小業者による新たな再生エネの取り組みや分散型のエネルギーシステム構築について交流します。

【コーディネーター】
井内尚樹 (名城大学教授)
【パネリスト】
高知県梶原村
中小業者、NPO ほか

C いま、輝く地域密着の家族経営

資本金やありきたりのノウハウだけで勝負できる時代ではありません。歴史や伝統・文化に根ざした人間性のある個性的なものが改めて見直されています。オンリー・ワンの家族経営の魅力と存在意義に光をあて、商売繁盛の方策を考えます。

【コーディネーター】
吉田敬一 (駒澤大学教授)

講座「憲法を考える」

【中小業者と憲法】 (講師)小畑隆資 (岡山大学名誉教授)
【経済主権とTPP】 (講師)宇野忠義 (弘前大学名誉教授)

参加者交流会

●18:30~(サン・ピーチOKAYAMA)
●参加費・定員:未定
参加を希望される方は申し込みの際にその旨、ご記入ください。定員になり次第、締め切ります。



岡山市民会館・大ホール・大会議室 JR「岡山駅」下車。駅前から路面電車で「東山行き」に乗り、「城下」で下車、徒歩3分。(所要時間20分)
県立図書館会議室・多目的ホール JR「岡山駅」下車。駅前から路面電車で「東山行き」に乗り、「県庁通り」で下車、徒歩5分。(所要時間20分)
岡山大学・津島北キャンパス・文法経済学部棟 JR「岡山駅西口バスターミナル22番乗り場」から【47】系統「岡山理科大学行き」に乗り、「岡大西門」で下車。(所要時間約7~10分)

6 全国飲料サミット 第3弾

チェーン店に負けない店づくり

「全国飲料サミット」の第3弾。デフレ・不況で外食は厳しい苦境に立たされています。「これまでのやり方、価格・料理・サービス」では通用しません。魅力ある店、かけがえのない店づくりへの挑戦が求められています。お客がお客を呼ぶ繁盛店の実践から学びあひ成功の秘訣を探ります。

【助言者】
森 靖雄 (愛知東邦大学地域創造研究所顧問)
小寺倫明 (兵庫県立大学准教授)

7 産学連携で切り拓く新製品・新分野

国民のニーズに応える新製品開発と産学連携

産学連携は新分野・新製品の開発ではもちろん、今の技術レベルアップや応用に不可欠です。自然エネルギーの開発などで次々に成果が生まれています。チャンスをつかみとった経験や新分野開拓のポイントなどを議論します。

【助言者】
近藤義晴 (兵庫県中小商工業研究所長)
吉田喜一 (都立産業技術高等名誉教授)

8 異業種交流とネットワーク

小さいからこそできるネットワーク

一社だけでは生き残る時代ではありません。新分野挑戦や開拓には、同業種・異業種・産業界のネットワークや交流・情報交換が欠かせません。ネットワークは新しいアイデアやひらめきを産み、育てる苗床です。生き残りをかけたネットワークの役割と意義を深めます。

【助言者】
佐竹隆幸 (兵庫県立大学教授)

9 中小企業振興条例と地域産業政策の課題

地域経済の担い手、中小業者の振興施策

中小企業振興条例は109自治体で制定されています。地域産業の実情にあった独自の産業政策を自治体がもち、地域経済の再生をすすめることが大切です。どのようにして地域内の経済循環をつくり内発的発展をすすめるか、各地の実践を交流・検証し学びあひます。

【助言者】
岡田知弘 (京都大学教授)

10 女性経営者

女性経営者のさらなる活躍にむけた課題

女性ならではの感性を生かした創業が増え、女性の社会参加を促進するとともに地域経済の担い手としても注目されています。一方、資金調達の困難や性差に起因する困難も。女性経営者の悩み、課題についても交流します。

【助言者】
川名和美 (高千穂大学教授)

11 世代交代と事業革新を考える

後継者問題にどのように対応するか

多くの中小企業者が世代交代期にあります。事業継承は、事業革新や新たな分野への展開のチャンスでもあります。後継者問題をどのように克服し、新たな展望も拓いたか、実際の経験を語り合い、悩みにもこたえます。

【助言者】
三井逸友 (嘉悦大学教授)

12 「地域分権改革」と地方税財政

地方分権と道州制の問題を考える

自公政権の復活で、地方分権改革と道州制推進の動きが加速することが予測されます。そのねらいは何か。自治体がコミュニティーを維持する役割を守るにはどうすればよいか。分権と自治の拡充、財政民主主義に基づく健全な財政運営の方向などについて考えます。

【助言者】
川瀬憲子 (静岡大学教授)

13 「税と社会保障の一体改革」を考える

憲法25条に基づく社会保障のあり方

「税と社会保障の一体改革」と社会保障制度改革推進法の下で、社会保障のさらなる削減が迫っています。TPP参加で国民皆保険の崩壊の懸念さえもしています。国民の安全・安心をどう守るのか、そして、新たな福祉国家の構想の展望をどう描くか、中小業者の実態から考えます。

【助言者】
金澤誠一 (佛教大学教授)
佐飛淳一 (税理士)

14 事業再生と地域金融機関の役割

円滑化法終了後の出口戦略は、どうあるべきか

金融円滑化法の終了で「出口」戦略が課題になっています。地域金融機関の中小企業を「育てる」機能を発揮させることが必要ですが、再生ファンドは中小企業の事業再生をはかる「切り札」となるのか。地域金融機関と金融システムのあるべき方向を探ります。

【助言者】
鳥畑与一 (静岡大学教授)

15 移動分科会

①好適環境水(岡山理科大)・備前焼
②倉敷のまちと児島のジーンズ

①環境好適水とは海水魚も淡水魚も同じ水槽内で生育できる不思議な水。わずかな濃度の電解質と淡水を加え、この水を生み出した山本・岡山理科大教授に水の可能性についてうかがいます。

【助言者】
八幡一秀 (中央大学教授)

第18回中小商工業全国交流・研究会参加申込書

氏名	住所	年齢	職 業	所 属	性別	電話
参加日について(○印をお付けください)						
9月7日(1日) ・ 9月8日(2日)						
パネル、分科会について(○印をお付けください)						
1日目	A 新しい地域創造への挑戦 —憲章・地域振興条例を力に— B 実践・再生可能エネルギーによる循環型地域づくり C いま、輝く地域密着の家族経営					
2日目	【憲法を考える】 第 分科会 報告したいテーマ					
参加費	・1・2日間 ・学生・院生		10,000円 3,000円		円	※移動分科会は無償を現地でお支払い下さい。
送金方法	銀行振込		郵便振替		現金書留 (○印を)	

2013年 月 日 ※申込み締め切りは8月25日です。